

4 年下

ウナギのなぞを追って

横浜市立荇子田小学校 浦部 文也

単元の特徴・付けたい力

本単元は、ウナギを題材とした説明的な文章である。筆者である塚本勝巳氏の研究に対する情熱やウナギの神秘的な習性をウナギの産卵場所を突き止める過程を通してまざまざと描いている。研究者の立場、神秘的なウナギの習性など、児童が関心を寄せることが複数あることから、一人一人の感じ方や興味をもつことに違いを見出しやすい。驚きや感動をそれぞれの読みの視点を大切にしながら要約することで、中心となる語や文を見付けて要約する力を育むのに適した教材である。

ICT の活用について

デジタル教科書 読みの視点ごとにレイヤーを分けて書き込むようにすることで、児童に着目してもらいたいことを焦点化することができる。

事実と推論を積み重ねている文章構造に注目させたり、中心となる語や文に着目させたりする際に効果的である。

テキストマイニング 初発の感想をテキストマイニングにかけることで、特に興味をもったキーワードをはっきりと浮かび上がらせることができる。

一人一人の感じ方や興味をもつことの違いを視覚的に共有する際に効果的である。

ロイロノート テキストマイニングの結果や初発の感想、要約文をアップロードすることで、一覧性高く、共有することができる。

全時学習活動（全 10 時間）

時	主な学習活動
1	ウナギや研究者について関心をもち、本文を読む。
★2	初発の感想を書き、テキストマイニングにかける。
3	「はじめ」と「終わり」を読む。
4	「中」の部分で「いつ、どこで、何があったのか」に着目して読む。
5	「中」の部分の「ウナギがどこで産卵するか」という問題をどのように解決していったのか、「事実」と「推論」を積み重ねた道筋を読む。
6	テキストマイニングによって把握した「同じことに興味をもつ人」同士でペアを組み、マイ黒板にキーワードを抜き出しながら整理する。
7	前時整理したことに、自分の考えを補足しながら、要約文の構成要素を絞り込む。
8	250 字の要約文を書く。
9	テキストマイニングによって把握した「異なることに興味をもつ人」同士でペアを組み、要約文の推敲をする。
10	完成した要約文を読み合い、興味を広げる。

★2 時の指導計画例

<p>◇学習活動・指導上の留意点</p> <p>◆ICT・デジタル教科書の活用場面</p>	<p>◆児童の反応</p> <p>□先生の感想</p>
<p><u>導入：前時を振り返り、本時の学習のめあてをつかむ。</u></p> <p>◇前時、宿題、さらに本時前半で文章を読み、後半に初発の感想を書くという学習の流れを理解する。</p>	<p>初発の感想なぜ書かせる</p> <p>明確な意図をもつことを大切にしたい</p>
<p><u>展開(1)：本文の内容を読む。</u></p> <p>①本文を読む。</p> <p>◇本文へ書き込みながら、文章を読む。</p> <p>◆デジタル教科書の書き込み機能を使いながら本文を読む。</p> <p>②書き込んだ線を友達と共有しながら読み深める。</p> <p>◇興味関心をもった言葉に印をつけるように助言したり、友達の引いている線の意味を考えさせたりすることで、書き込みの進まない児童が学習イメージをもてるようにする。</p> <p>◆デジタル教科書の書き込み機能を使いながら本文を読む。</p> <p><u>展開(2)：自分の感想をもつ。</u></p> <p>③初発の感想を書き、テキストマイニングにかけ、ロイロノートにアップロードする。</p> <p>◆デジタル教科書の本文や自分が線を引いた部分、写真や挿絵を見返しながら、初発の感想を書く。</p> <p>◆初発の感想をテキストマイニングにかける。</p> <p>◆テキストマイニングの結果をロイロノートで共有する。</p>	<p>◆しーんとした空気の中、黙々と本文へ書き込みながら読み進めていた。児童によっては、ノートにメモを取ったり、本文の余白へ自分の考えをメモしたりしながら進んでいた。</p> <p>□書いたり消したりが容易な点、書き込みの自由度（線、枠、付箋等）が高い点などのデジタル教科書の利点が没入感をもたらしているのではないかと考えられる。</p> <p>◆一人では読み進められない児童や友達と相談しながら進める児童など、授業が進むにつれ、学びの多様性が出てきた。</p> <p>□学びが多様になるからこそ、一人一人に合わせた支援が必要となる。一人で読み進められない場合は、読み進めるきっかけを与えたり、友達と協働できるようにしたりすることで対応していく。デジタルコンテンツやインターネット検索も時折織り交ぜてよいこととした。知的好奇心に蓋をしないことを心がけることもまた重要である。</p> <p>子どもに丸投げしない</p> <p>◆タイピングの音だけが教室に響き渡ること 15 分。ほとんどの児童は作文用紙 2 枚以上の分量を書き切った。</p> <p>□とめどなく書くことが溢れ出る子どもたちの姿をイメージしながら、読みの時間を充実させることが肝要である。また、日常的なタイピングの訓練は必要である。</p>
<p><u>まとめ：学習を振り返り、次時の見通しをもつ。</u></p> <p>◇本時の学びを振り返り、次回のめあてを確認する。</p> <p>◆ロイロノートに共有された初発の感想やテキストマイニングの結果をもとに感想を伝え合う。</p>	<p>テキストマイニングで差をはっきり示す</p> <p>なぜをあかず調査簿のすこさ</p> <p>◆テキストマイニングの結果をロイロノートで共有する。</p>